

河北新報普及センターと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2019年 9月



ハナモモちゃん

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991

星座の世界を市民へ

仙台高専学生が活動

仙台高等専門学校の学生が主体の市民活動団体である「名取天文台」の主催する「出張プラネタリウム」増田公民館が、8月23日・24日の2日間、増田公民館で開催されました。「名取天文台」は、今年3月までは部活動として活



動していましたが、より活動を拡大させるために市民活動団体として独立。現在は、同校名取キャンパスの学生7人で移動式プラネタリウムを運用しています。当日は、直径6mに及ぶドーム状のプラネタリウムをメインとして、望遠鏡を

つくるワークショップや、天体クイズラリーなど、様々なブースが展開されました。また、プラネタリウムで使用された投影機は、学生たちが設計・製作・プログラムまで全て手掛けています。投影機は約8000個の星を映し、天体の日周運動、太陽や空の投影が可能となっています。「名取天文台」は、名取市民に星を身近に感じることのできる場所を提供したい！という想いから宇宙に関するイベントを開催しています。今回の出張プラネタリウムでは2日間を通じて330人が来場し、まさに名取市民の宇宙体験に貢献しました。団体の代表を務める庄子瑛さん(17)は「もっと規模を大きくして、増田公民館以外の場所でもイベントを開催したい」と今後の展望を話してくれました。(石幡 快)



名取史跡巡り

佐倍乃神社

道祖神社

市内の遺跡・史跡などを巡る「名取史跡巡り」ハナモモ記者が「旅」。第4回は愛島笠島にある「佐倍乃(さえの)神社」を紹介いたします。

「佐倍乃神社」は西暦110年創建という歴史ある神社です。猿田彦大神(サルタヒコノオカミ)と天鈿女命(アメノウズメノミコト)の夫妻を祭っており、交通安全や人生・生活のよ



き道案内の神として、また、芸や習い事の上達の神として信仰されています。最近ではスポーツ少年団が勝利祈願を行うこともあるそうです。

歴代仙台藩主からも大切に扱われ、約300年前に拝殿が火災で焼けた際は、4代藩主伊達綱村公が修繕させたということです。その際、柱の外に突き出た「木鼻」に火災除けの願いを込



（星野裕太、鈴木雄大）
 ◇アクセス◇
 JR名取駅からならとりん号北目上原線で「道祖神前」バス停下車、徒歩約3分。

毎年4月の例祭日には、宮城県や市の無形文化財に指定されている「道祖神神楽」が奉納され、多くの市民が集まります。松浦裕子宮司(55)は「大願成就のお礼参りに来る人が多くいます。また、神楽の舞のすばらしさに感動の涙を流す人もいて、市民の心よりどころになっていると感じます」と話しました。



